

葦 森 の 風

2学期を迎えて

1学期末から急ピッチで進めてきた、大井校舎への移転も、保護者の方や地域の方の温かいご支援によって、無事にここまで進めてくることができました。心から皆様方のご理解並びにご協力に対しましてお礼申し上げます。生徒達には3年生を先頭に、新しい歴史の1ページを自分たちの手で切り開いていくんだという、意気込みが見られ、とても頼もしく感じているところです。

生徒会執行部の生徒から、新しい足守中学校の歴史に刻み込めるように、これまでの「文化祭」を「葦中フェスティバル」という呼称に今年度から切り替えたいという提案があり、可決しました。いつまでも、記憶にとどめておきたいものです。9月30日に行われた「葦中フェスティバル」では、どの発表も「スタートダッシュ」というスローガンにマッチした、力強いものばかりでした。足守校舎は、11月頃からいよいよ解体作業に向けて動き始める予定です。終わるのではなく、始まるのだという期待感を抱いて、それぞれの生徒達が、自分の夢に向かって、前進していってくれることを願っています。

1学期後半から2学期初めの記録

7月13日

生徒会主催お別れ球技大会



7月13日

生徒会主催校舎お別れ清掃活動



7月16日

PTA主催学年レクレーション



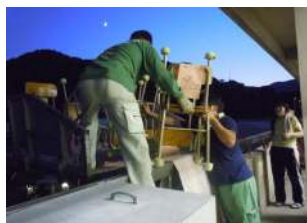
7月17日

地域開放校舎お別れ会



8月3日

移転作業



8月21日

PTA環境整備活動



8月29日

大井校舎整備



9月1日

始業式・校内案内



足守中学校運営協議会委員さんから一言

御船宗一郎 さん

旧大井小学校へ仮移転し、新しい環境でのスタートとなった2学期も、はや1ヶ月が経過しました。先生方を中心とした、夏休みを費やしての移転作業により、スムーズに2学期がスタートできている様です。また、4月の蛍明小学校のスタートの際も感じましたが、案外、子供たちの方がずっと新しい環境に慣れてしまうものだなど、その適応力には感心させられます。

適応力に関係して、最近よく話題になるのが、『コミュニケーション能力』という言葉です。私が勤める会社の社員研修でもよく取り上げられています。私が学生の頃は、いわゆる、偏差値重視の教育が主流でした。学生の本分が勉強であることに今も昔も違いはありませんが、最近の大学生の就職浪人等の話題を耳にして、果たしてこれから社会に出て行く子供たちにとって必要なものは何か、大人は何を伝えていけばよいのかを考えさせられてしまいます。

『自主自律』という言葉があります。なすべきことを自ら考え、自らを律し、自らの道を選び取っていくという意味です。勉強も社会での色々な体験も、教えられるのみではなく、自ら学び問う姿勢で臨んでいって欲しいと思います。

職員室の前の『桜』は春になると見事な花を咲かせます。今回の移転のタイミングで仮設中学校に在籍した生徒たちが、満開の桜の下で、笑顔で卒業出来るよう、学校・PTA・地域一丸となって協力していきましょう。

